

ハートクロス HEART CROSS

芳賀赤十字病院だより

vol.3²⁰¹⁶
July



＜熊本地震災害＞現地で救護支援



特集

＜熊本地震＞

医療救護班および看護師を派遣

■ 新任医師および研修医紹介

■ ～地域とつながる～ 登録医情報

真岡中央クリニック（真岡市）

さとう耳鼻咽喉科クリニック（茂木町）

Topics.....

Information.....

芳賀赤十字病院後援会総会を開催

「レッドコール」訓練 -いざという時に備え、真岡警察署と訓練-

「第24回芳賀病診連携懇話会」を開催

病院理念および基本方針の変更について

特集

～熊本地震災害～ 医療救護班および看護師を派遣



平成28年4月14日(木)から始まった熊本地震。最大震度7の激震が、熊本県から大分県地方を襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。当院からも医療救護班および看護師を派遣し、災害支援に参加しました。

日本赤十字社、熊本赤十字病院が救護活動を展開

この地震災害を受け、日本赤十字社(以下、日赤)は発災直後から情報収集を開始。4月20日から熊本県阿蘇市、西原村などの各避難所に医療救護班を派遣し、避難所で救護活動を展開。被害拡大に伴い、全国からdERU(緊急仮設診療所)を6チーム派遣し、206の救護班が避難所などで仮設診療所を開設、被災者の救護活動にあたりました(実績：平成28年6月2日現在)。

また、現地の熊本赤十字病院では、熊本県の基幹災害拠点病院として発災直後から災害態勢に切り替え。同院は、停電の中、ロビーや待合室などで、地震後から殺到する多くの外傷患者などの対応をしました。その後も、全国の赤十字病院医師などから成る医療支援チームのサポートを受けながら、医療サービスを提供しました。



熊本赤十字病院のようす(日本赤十字社提供)

当院からも、医療救護班を派遣 -被災地で巡回診療-

4月22日(金)～24日(日)まで3日間、救護班(班長：岡田 真樹統括管理監)を熊本県に派遣。当院救護班は、他県からの派遣チームと共に、熊本県阿蘇郡西原村の西原村役場前に展開されているdERU(仮設診療所)での診療や巡回診療の救護活動を行いました。

今回班長として活動した岡田統括管理監は、「発災後1週と早い時期であったため外傷の方が多く、他には風邪や胃腸炎の方、高血圧や糖尿病などの普段飲んでいる薬がなくなったという方が来られました。5～6か所ある避難所の巡回では診療とともに、避難所のアセスメントが重要な仕事でした」と話しました。

<避難所での救護活動>



小児患者診察のようす(左：岡田統括管理監)
(西原保育園前dERUにて)



調剤業務(中央：伊沢薬剤師)(西原村・西原保育園)



熊本災害支援に参加して -熊本赤十字病院業務支援-

地震後、災害拠点病院として機能する熊本赤十字病院の業務支援のため、看護師2名を4月25日(月)～5月1日(日)の間派遣しました。

両名は、他赤十字病院からの支援スタッフとともに、総合救命救急センターおよび整形外科病棟でそれぞれ勤務。当院救急外来に勤務する松澤看護師は、「熊本日赤では救急センターで一次～三次救急までの患者をトリアージした。日頃、救急外来で行うトリアージ経験を生かすことができた」、山崎看護師は「瓦礫などの片づけで負傷した外傷患者さんが多いのが、印象的だった」と話しました。二人はともに、「業務は大変だったが、次に救護の機会があれば、また参加したい」と話しました。



熊本赤十字病院業務支援に参加
左：山崎 真秀看護師
右：松澤 香看護師

用語について

dERU : 大規模災害発生後、一刻も早く被災地における診療を開始することを目的として、仮設診療所設備とそれを運ぶトラック・自動昇降式コンテナと訓練された職員、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称。

トリアージ：患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと。

新任 医師紹介

平成28年4月に 赴任した医師を紹介

●氏名 ①役職 ②出身地 ③ひとこと の順に掲載

Profile

おお た がく
太田 学



- ①第二外科医師
- ②埼玉県深谷市
- ③患者さん、病院の役に立てるように真摯に取り組んで参ります。よろしくお願ひ申し上げます。

Profile

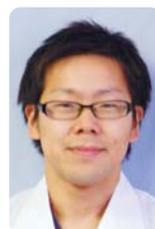
すが わら りょう
菅原 亮



- ①整形外科医師
- ②宮城県
- ③今まで以上に外傷疾患を受け入れられるよう頑張ります。また、脊椎手術も増やしていきますので、よろしくお願ひします。

Profile

ひ やま しゅうへい
檜山 秀平



- ①整形外科医師
- ②栃木県真岡市
- ③地元に戻ってきました。真岡・芳賀地区のために働きまくります。よろしくお願ひします。

Profile

ほり え けんじ
堀江 健司



- ①第一産婦人科医師
- ②愛知県名古屋市
- ③地域の産婦人科医療に貢献できるよう、一所懸命頑張ります。

Profile

お くま ひろふみ
小熊 啓文



- ①脳神経外科医長
- ②埼玉県さいたま市
- ③地域に根ざした医療を提供できるよう、日々取り組んでおります。よろしくお願ひします。

Profile

くろ だ りん たろう
黒田 林太郎



- ①脳神経外科医師
- ②東京都
- ③皆さん、こんにちは。コミュニケーションを大切に、安心を届けられるよう努力致します。よろしくお願ひします。

Profile

すみ た なおき
住田 直樹



- ①麻酔科医師
- ②栃木県佐野市
- ③手術室麻酔、術前麻酔科外来を行っています。頑張ります。

『臨床研修医通信』を発信中!

当院での研修のようすを、ホームページ・Facebookで発信しています。



研 修 医 紹 介

今年4月に峯積 拓巳研修医が入職。2年次の船山 陽平研修医と共に、日々励んでいます。

1年次研修医 峯積 拓巳 研修医

はじめまして。今年度から2年間、芳賀赤十字病院に研修医として就任しました峯積拓巳と申します。

1年目の研修医は1人ですが、多くの先生方、先輩の船山先生、病院スタッフの方々のお世話になり、支えられながら楽しく充実した研修生活を送れています。研修中は多くのことが初めての経験となりますが、積極的に行動し、一つ一つを大切に成長していきたいと思ひます。

2年次研修医 船山 陽平 研修医

4月から新研修医の峯積先生が当院で初期研修を始めました。臨床研修でのアドバイスを含め、自分にできることがあれば是非協力したいと思ひています。また、研修の合間には談笑したりと、私にとってもより楽しく研修生活が送れています。自分も気を引き締めなおして、これからの研修を共に頑張っていこうと思ひます。



左：峯積 拓巳研修医(1年次)
右：船山 陽平研修医(2年次)

～地域とつながる～

登録医情報

地域の先生がたは、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、地域医療連携を進めることができます。

今号は、真岡中央クリニック(真岡市)とさとう耳鼻咽喉科クリニック(茂木町)をご紹介します。



当院は医療(入院、外来、訪問診療、訪問看護、リハビリテーション)、介護(通所リハビリ、通所介護、訪問介護、居宅支援)と様々なサービスを提供しています。地域の方々の健やかな生活を支える診療所です。

最前列右から2人目：小川 松夫院長

真岡中央クリニック (真岡市)

〈対象疾患〉 一般内科疾患、神経難病、脳血管障害

〈得意分野〉 生活習慣病対策、訪問診療(往診)、リハビリテーション

●当院との地域連携について、どのように考えていますか？

診断、治療の難しい患者さんを芳賀赤十字病院にお願いしています。特に助かっているのは救急患者さんの受け入れです。救急車に乗るときに「退院は難しいだろうな」と内心思いながら見送っても、数週間後に外来で元気な患者さんの姿を見たときに芳賀赤十字病院の医療レベルが高いことを実感しています。

●地域の方々へのメッセージ

身近にかかりつけの先生を持ちましょう。普段の診療はこれまでの病気や家族のことなどをよく知っているかかりつけの先生にお願いし、救急や高度医療が必要なときは芳賀赤十字病院を紹介していただき、治療が終了したらまたかかりつけの先生に診ていただきましょう。

基本情報

- 院 長：小川 松夫
- 住 所：栃木県真岡市上高間木2-24-4
- T E L：0285-82-2245
- 診療科目：内科、神経内科、消化器内科、リハビリテーション科、皮膚科
- 休 診 日：土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始



開院7年目になりました。地元の皆様から信頼され、安心していただけるようなクリニックをめざし、スタッフ共々頑張っています。

2列目最右：佐藤 圭理事長

さとう耳鼻咽喉科クリニック (茂木町)

〈対象疾患〉 アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、めまい、難聴など。

●当院との地域連携について、どのように考えていますか？

常勤の耳鼻科医がいる病院は少ないため、芳賀赤十字病院の存在は大変助かっています。地域医療連携によって患者さんの紹介も円滑になり、安心して安全な医療を提供することができます。

●地域の方々へのメッセージ

県東医療圏では耳鼻科の診療所が少なく、患者さんには不便な地域です。その中で芳賀赤十字病院の役割は大きいのですが、過度の負担をかけないためにも、かかりつけ医をもち必要な場合に紹介受診してもらうことが大切です。

基本情報

- 理 事 長：佐藤 圭
- 住 所：栃木県芳賀郡茂木町茂木1160-5
- T E L：0285-64-3341
- 診療科目：耳鼻咽喉科
- 休 診 日：第2・4水曜、水曜午後、土曜午後、日曜日、祝日



Topics

芳賀赤十字病院後援会総会を開催

6月29日(水)平成28年度芳賀赤十字病院後援会総会をフォーシーズン静風で開催。後援会会員の皆さま、当院職員らが出席しました。

総会では、会員数現況報告や平成27年度事業状況報告および決算報告等のほか、平成28年度事業計画等の議事が進められました。また、平成27年度事業として催事用テントおよびテーブル・椅子が寄贈されたこと、第33回真岡市産業祭出展時の後援会会員募集の様子などが報告されました。



総会の様子

＜芳賀赤十字病院後援会会員募集＞

芳賀赤十字病院後援会は、芳賀赤十字病院が適正かつ円滑に運営されるよう支援することなどを目的に、地域の法人や個人を会員として活動しています。入会をご希望される方は、芳賀赤十字病院病院後援会事務局(総務課)までご連絡ください。

芳賀赤十字病院後援会事務局(総務課) Tel 0285-82-2195

「レッドコール」訓練を実施 -いざという時に備え、真岡警察署と訓練-

6月29日(水)、「レッドコール」訓練を実施しました。「レッドコール」は、職員が患者等から危害を受け、または受ける恐れがある場合の院内通報システム。今回は、真岡警察署生活安全課協力のもと、職員・警察官らが本番さながらの緊迫した雰囲気の中で想定訓練しました。

想定内容は、当院に不満を持つ患者が救急外来で怒鳴り散らしながら、刃物を取り出し、ちらつかせる、というもの。患者役警察官の迫真の演技に、思わず対応した看護師がたじろぐ場面も。看護師のレッドコール要請、110番通報、警察官が駆け付けるまでの院内連絡体制など一連の流れを確認しました。講師の別井生活安全課長からは、「粗野な行動する者に対応する場合は、速やかに110番通報し、警察官が到着するまで焦らず慎重に対応するとよい」とアドバイスがありました。



患者役警察官(左)を取り囲む院内職員と110番通報により駆けつけた警察官

「第24回芳賀病診連携懇話会(病診連携推進のための学習会)」を開催

6月9日(木)「第24回芳賀病診連携懇話会(病診連携推進のための学習会)」が開催され、芳賀都市医師会の医師をはじめとする73名(院内含む)が参加しました。当院医師らが「紹介症例の報告と検討」2例、「専門医からのメッセージ」を発表しました。

参加者からは、「先生方の発表が素晴らしかった。自分もこのようなプレゼンができるようになりたい。」との意見がありました。

専門医からのメッセージ
菅原 亮整形外科医長の発表

《発表内容》

◆紹介症例の報告と検討

司会：芳賀赤十字病院 村上 善昭 第一内科部長

外科「急激に増大し下腹部痛・歩行障害を呈した後腹膜腫瘍の1例」 芳賀赤十字病院 外科 篠原 翔一 医師

◆専門医からのメッセージ

司会：菜の花整形外科 田村 博司 院長

「こどもの脊椎変形―検診から診断、治療まで」

芳賀赤十字病院 整形外科 菅原 亮 医長

Information

病院理念および基本方針変更のお知らせ

このたび芳賀赤十字病院では、病院理念および基本方針を変更しました。

新理念は、『地域に貢献する病院』。これは、地域住民の健康問題のみならず、生活の質にも注目しながら、住民一人ひとりに寄り添って支援していく医療活動を表現しています。

また、今後、地域でどのような病院が求められているか検討し、地域に求められる機能に基づいた芳賀赤十字病院を目指します。



芳賀赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

<理念>

地域に貢献する病院

<基本方針>

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献

表紙紹介

読者の方に「読みたい!」と手に取ってもらえるよう、表紙は当院の行事などで撮影した「イチ押しの1枚!」を掲載しています。

今号の表紙は、熊本地震災害支援のため出動した救護班メンバーたち。

先遣隊の主事2名は救急車で現地入りしたため、栃木～熊本間の約1,300キロという距離を縦断しました(ほか救護員は、公共交通機関利用)。

熊本県では地震により寸断されている箇所もあるため、道路事情に合わせ、迂回するなどしながら救護活動を展開しました。救急車を運転した主事は、「慣れない車両の長距離運転は不安だったが、2人で協力し無事に職務を果たすことができ、ほっとした」と話しました。



救護班出発式の様子

芳賀赤十字病院の理念及び基本方針

<理念>

地域に貢献する病院

<基本方針>

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

芳賀赤十字病院

〒321-4306 栃木県真岡市台町 2461
TEL 0285-82-2195 (代) FAX 0285-84-3332 <http://www.haga.jrc.or.jp/>

詳しくは [芳賀赤十字病院公式 HP <http://www.haga.jrc.or.jp>](http://www.haga.jrc.or.jp)

[芳賀赤十字病院公式 facebook](#)

どちらも「芳賀赤十字病院」で検索

芳賀赤十字病院

検索



編集協力/㈱松井ピ・テ・オ・印刷